

●第22回通常総会 23日 中央公民館

社員43名のうち委任状を含めて39名の参加で総会は成立し、活動報告と決算が承認されました。2016年度活動方針と予算も原案通り決定されました。引き続き第1回理事会では活動日程も決定されました。総会で出された質問では、環境部会の活動報告項目の充実、河川レンジャーとの連携などの扱いの要望意見、京田辺市で予定されている国際的な自転車大会について、京田辺市文化振興計画と自然史博物館の建設への取り組み強化の提案、および京田辺市の文化政策のシンポジウム開催について要望意見が発言されました。議長は有田勉氏が万端うまく議事進行をいただき、10分の延長で進行されました。最後にその他の項目で、京田辺市草内運動公園の低水敷の浜の名称を「草内渡し浜親水公園」とすることが決定されました。通常総会の開催前に逝去された特別代表の佐伯快勝さんと河川レンジャーの柴垣治氏の実績が披露され、全員が黙とうをささげました。

●会誌40号が23日に発行されました

182ページのいい会誌に仕上がりました。今回は40号となる節目の記念です。巻頭の挨拶では村田源先生が希少植物を追っかけるのみではなくて、当たり前にあるものを正確に記録に残す努力を呼びかけられました。近畿の元気な地域づくりで審査公表された阪南大学准教授の森重昌之先生もイベントの開催と成果を発表されていることが高い評価につながったと総評で述べられています。結成20年を振り返る時に、もう一度原点に立ち返り村田先生の示唆をかみしめ、出発点に立たなければならないのではないのでしょうか。素晴らしい巻頭の御言葉をいただきました。講演会報告では小南裕志先生から詳しくわかりやすい報告書をご提供いただきました。CO₂問題について正確に理解できる説明があります。随分間違っていて理解しているのだと気づかされました。竹門康弘先生からは竹蛇籠の役割とその効果をお話いただいています。いずれもいいお話であったことが伺い知れます。

●竹蛇籠の生き物調査 24日 飯岡浜

木津川の水も徐々に緩み始めました。少し時期的には早いように感じましたが、この日生き物調査を実行しました。グループレンジャーの皆さん4名と河川レンジャーアドバイザーの福井さんと山村、そして同志社大学生数名が参加、例によって中西康太君がおじいさんと一緒に参加。愉快的楽しい取り組みになりました。この日の確認した生き物はメダカ、カワヨシノボリ、ヌマチチブ、カマツカ、テナガエビ等14種でした。右岸の竹蛇籠の下流部には砂が張り付いています。左岸は大きな反転流が形成されています。そして滞筋が随分と中ほどに押し出されているように見えます。小さな竹蛇籠ですが、大きな効果をはっきりしているようです。

●春のハイキング 5月13日

行き先を日本新薬の薬草園と先週号でお知らせいたしましたが土日祝日は閉園とのことで、13日(金)といたしました。ご準備いただきました皆様には申し訳ありませんでした。都合をつけてぜひお越しください。アクセスを検討中です。次号で案内いたします。

●尚翌日の14日には「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会の定期総会」が開催されます

前半の30分間で定期総会を行って、13時30分頃から河川協力団体に指名されている団体のご出席をお願いして「シンポジウム」が予定されています。現在協力団体は近畿地方整備局管内では

17 団体とされています。里山の会は昨年度指名を受けました。指名を受けた団体に何ができるのかを話し合います。里山の会からも多数の皆さんの出席をお願いします。

●春の花散策 5月7日

左岸の木津川市を訪ね平重衡（たいらのしげひら）にまつわるところを訪ねます。そして右岸に渡り、大曲から開橋までのコースを進みます。距離は6km程度でしょう。最後に天気良ければ葛城山を展望したいものです。後半部分は昨年堤防強化工事を行ったところですので、その再生の現状を調査したいものです。集合はJR木津駅西口9時30分です。解散は開橋木津川流域センターです。祝園駅15分 棚倉駅20分です。

●里山農園付近植物観察 15日（日）

昨年も同時期に調査しました。その結果を里山農園付近の生き物として写真集を第1次分としてまとめました。今年も同じ日時に取り組みを行います。ぜひカメラをもってご参加ください。集合は里山農園10時 普賢寺小学校10時といたします。

●訃報が続きます

本会の副理事長としてご奮闘いただきました徳田武治様が3月20日に永眠されました。4月26日富士山を集中的に取材されてきたカメラマン森本寛治さんがご逝去されました。ご両人のご冥福をお祈りいたします。